

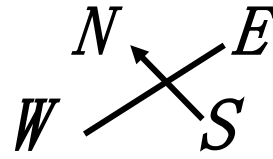
藤 沢

2021年11月1日

第330号

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット



主
な
記
事

- ・世界気候アクション 子どもと共に
- ・「広島への誓い ～サーロー節子とともに」
- ・ふじさわモデル 学校を電力砦に
- ・農業ネオニコチノイド ・コロナの状況⑧

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / F A X 0466-87-4922

CO₂削減は待ったなし!! ～パブコメ参加で藤沢市の未来をみんなで創ろう!～

過去1万年間、CO₂濃度は280～290ppmの安定的な「準定常状態」であったが今は410ppmを超え、このまま進行すると気候システムの危機が迫っている。

10月31日 英グラスゴーで始まったCOP26(国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議)に岸田首相が出席することになったが、日本が先に発表した第6次エネルギー基本計画の内容があまりに環境問題に後退した姿勢に、開催国イギリスのジョンソン首相からは「石炭火力の廃止」表明を求める電話があったそうだ。日本の30年46%削減(2013年比)目標は2010年比にすると不十分である。

国連のグテレス事務総長はCOP26を間近にした10月26日の記者会見で「気候変動による大惨事に向かっている」と警告し、各国に目標を高め、発展途上国向けの支援を増やすよう求めた。この会見は、UNEP(国連環境計画)の「排出ギャップ報告書」発表に当たり、排出ゼロを宣言した50カ国・地域の目標が完全に実行されても、今世紀末に2.7℃の気温上昇を0.5℃しか抑えられない、そのため目標の上積みと、それ以外の地域での削減対策を呼びかけたものである。

同氏は今年3月にも、石炭火力発電に対してG7各国に2030年までに廃止する計画の実施を呼びかけており、今回のCOPで、日本の石炭火力発電所新設計画に憂慮し、計画の変更を求めてくることは必至である。

「脱炭素社会の実現に向け、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指します」と気候非常事態宣言した藤沢市は、現在、環境基本計画と藤沢市地球温暖化対策実行計画の改定(素案)で2030年に46.3%削減(2013年比)を発表し、パブリックコメント実施中のこの素案は排出削減の積み上げが必要なようだ。「パリ協定」は気温上昇を産業革命前から2℃未満、できれば1.5℃以内に抑えることをめざしている。重要なことは、排出削減が遅れば1.5℃に抑える機会を永遠に失ってしまうという局面が間近に迫っているということだ。

パリ協定の目的、気候危機への対策の前進のためにも、藤沢市もできるだけ早期に温室効果ガスの排出を削減し「脱炭素都市 藤沢」をめざす「省エネと再エネ」の戦略的計画とその実施が求められる。パブコメに参加することで政策決定に関わることができる。みなさんパブコメで一層の削減を訴えよう。(菅谷芳雄)



カキ (すすなりです! 大庭で)

映画「ヒロシマへの誓い ーサーロー節子とともにー」

「人々に行動してほしい。そのために私は語り続けるんです」と核兵器の違法性と非人道性を断じたこの条約発効の大きな原動力となったのが、カナダ在住のサーロー節子さんです。

今年1月に発効となった核兵器禁止条約。広島学徒動員先で13歳の時に被爆し、カナダに移住後世界各地で被爆証言を行い、ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）発足後はその代表として国連はじめ様々な国際会議で活動してきた彼女の半生をドキュメンタリーに仕上げた映画です。原爆投下後70年となる2015年から撮影を初め、ノーベル平和賞を受賞したICANの授賞式での彼女の感動的なスピーチも出てきます。

共同プロデューサー竹内道さんはサーロー節子さんの同窓生。彼女の祖父は広島日赤病院初代医院長であり、8月6日に病院で被爆し、負傷しながら被爆者の救済に当たった竹内鈿さん。その長女で、道さんの母、孝子さんも入市被爆者であり、その姿も映画には出てきます。

我が国はいつまで核禁条約に背を向けるのか、広島出身で核兵器廃絶に力を尽くすと発言していた岸田氏が首相になった9月、サーロー節子さんは首相にあてて手紙を書き、「行動してほしい。唯一の被爆国である日本が背を向けることが許されるのでしょうか。日本がこの条約に加われば・・・核保有国さえ動かします」と訴えました。

核禁条約の批准国・地域は現在56に上りましたが、日本政府は相変わらず批准はせず、核の保有国と非保有国の橋渡しをするという具体性を欠いた態度に終始しています。日本原水爆被害者団体協議会（被団協）の発表（10月）によると全国703人の衆参国会议員の核禁条約批准に関するアンケートの結果、回答226人のうち批准に賛成は174人。自民党は45人中賛成は13人、立憲民主党は91人中87人、公明党は21人中18人、共産党は25人全員が賛成。岸田首相の回答はなかったとのこと。

批准未だ少年焼き場を立ち去れず（朝日川柳 岩手県瀬川重哉）この句が重く心に残りました。

11/20 上映します。 （島田啓子）

世界気候アクション 子どもと共に

9月24日金曜日、世界気候アクション（Global Climate Strike）で、藤沢駅北口サンパール広場へ。

3歳の息子とスタンディングに参加した。同じ幼稚園に通う仲間たちもいて、息子は人生初のピラ配りにも挑戦。手作りのプラカードを手に、大人も子供も思い思いにスピーチ！

夕方、駅前を足早に過ぎる人たちの中に、立ち止まって聞く人、ピラを受け取った人、声をかけてきた人がいた。参加した私自身も、今回のアクションを通じて勇気もらった。藤沢に、そして世界中に多くの同志がいる。この日世界1,400か所以上、日本35か所以上で開催されたとのこと！

選挙権を持たない子供たちや、その先の先の未来の世代のために、今の大人たちが決めよう。

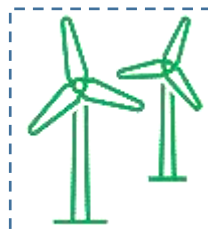
脱炭素、脱原発、脱大量生産大量消費。気候危機、見て見ぬふりはもうできない！（関京子）

”気候危機、見て見ぬふりはもうできない”を合言葉に、世界各地、世界の仲間と心をあわせて、私達は藤沢駅サンパール広場でスタンディングを行い60人ほどが集まりました。6月に行った市役所前でのスタンディングでは配布チラシがすぐになくなったので、今回はチラシの数を増やし、各々メッセージプラカードを持参して参加をしました。

子ども達もやる気満々!! 配布チラシは今回もあっという間に配り終えました。チラシがなくなると、子ども達はサンパールを飛び出しプラカードを持って練り歩いて訴える行動に。大人達もマイクを回しながらうす暗くなってきた夕方、行き交う沢山の人へメッセージを送りました。そんな大人達を見て、子ども達もマイクを持って未成年の主張をしていました。「5歳です！地球は人間だけのものじゃない！」「海にゴミを捨てないで！」この日、多くの方々と団結し、道行く人に訴える事が出来ました。見て見ぬふりをして過ぎ

て行く人も多かったけれど、気づいてくれた人もいたと思います。

”気候危機、見て見ぬふりはもうできない！” （益永由紀）



ふじさわモデル： 学校を電力砦に 2030年CO2△46%目指す

学校屋根最大活用、避難所電力強靱化で命と地域を守る

全56学校避難施設等でCO2 削減△17% 3年計画実行

① 屋根概略配置 藤沢市立村岡中学校



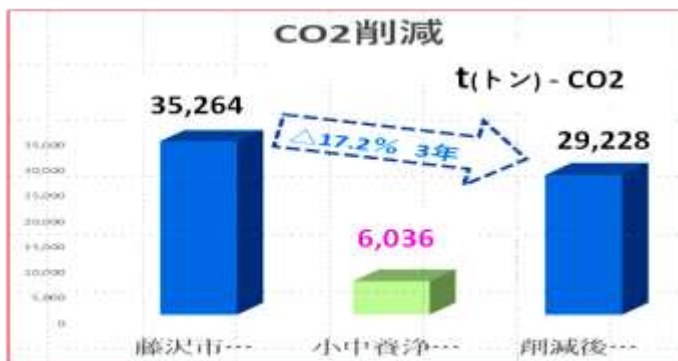
"最優先・最大限・加速化" 政府要請
前回啓蒙19kW 自給率15%不評
8割面積で158kW発電とした。

余剰45%は市役所へ融通する。
専用自営線給電の為、災害時有効
体育館長期避難の災害関連死 防ぐ

先行事例/実証実験 村岡中学校着手
プロポーザル型公募でPFI活用導入
地域レジリエンス・脱炭素同時実現

太陽光発電は"脱炭素"効果
CO2排出係数0 効果大
56ヵ所合計で△ 17%

②CO2削減 17% 全56ヵ所



CO2△17%

気候非常事態解決 待ったなし！
市民・専門家の力で実現を！！
(安竹哲雄)

農薬ネオニコチノイド散布中止を！

藤沢から平塚までの海沿い砂防林への農薬ネオニコチノイド散布。砂防林は広大な面積です。いつからこの広大な範囲に農薬散布をと、藤沢土木事業所に聞くと、1975年あたりからではという。すると46年間にわたってまいてきたのです。

これは地球にとって取り返しのつかない損失です。私達、子供たちにとって命、健康にたいして計り知れない深刻な問題が蓄積されているはずです。ただそれに対して気がついていないだけなのです。警鐘を鳴らしている人はいます。2019年でしたか12月7日藤沢ミナパークで、環境脳神経科学情報センター代表の黒田洋一郎先生の講演がありました。パンフにはこう書いてあります。「何で増えているの？発達障害。驚愕！～子供の発達障害の増加と多様性～日本の農薬使用量は、世界で2位」。1位の韓国とそれほどの差ではないので、日本は1位2位を争う農薬使用国なのです。近年日本では自閉症障害、多動性障害、学習障害など子供の脳の発達や異常の急激な増加がみられています。そして日本と韓国は自閉症の有病率が断トツに高いです(パンフより)。

私は、最近この湘南海岸沿いの広大な松林農薬散布を知り、すぐに、黒田洋一郎先生に連絡を取りました。私たちは子供たちを守るためにも散布を中止させなければなりません。

私は中止を求める会を作りました。どうぞ心ある方は連絡下さい。

naokoito@icom.zaq.ne.jp へ。(続く)

(伊藤直子)

コロナの現状 ⑧

第5波のコロナの感染は驚くべき拡大で恐怖に巻き込まれた。緊急事態宣言が解除となった10月になって漸く一日に1人、2人と少なく収まっている。飲食店での飲酒も制限一部解除され、やや活気を取り戻しつつある。公民館等も夜間の使用禁止が解除された。今、油断してはいけないと思う。10月上旬までは保育園や学童保育所の休園が続いた。5波はデルタ株の感染拡大により10代からの低年齢層に医療危機をもたらした。また自宅療養が増えた。10月末で市内の死者は53人であり、入院者は0人、自宅療養者が5人の状況。

藤沢市は10月1日緊急事態宣言解除されワクチン接種も進んできたが、ワクチンが足りないこととなっていた。医療機関や集団接種会場での接種は続いている。

藤沢市のワクチン接種状況(10月25日市HP)

総接種回数 609,232回 対象 393,702人

1回目接種回数 323,336回 81.0%

2回目接種回数 285,896回 70.3%

3回目接種は12月から医療従事者、1月下旬から高齢者を見込んでいる。県内他市と比べ接種率が低かったが、加速化月間を設けて接種の結果か、今のところ一日当たりの感染者は低い。

藤沢市は市内で使えるプレミアム付商品券「ふじさわ元気回復デジタル商品券」を販売する。5000円で6000円分、大型店・中小小売店・飲食店応援共通券・飲食店応援専用券など各種あり1人6セットまで購入できる。申込みは「デジタル商品券コールセンター

(0120-011-656)」11月1日～11月15日まで、2回目の緊急経済対策だが22年2月末まで使える。昨年実施の商品券「ふじさわ元気回復プレミアム商品券」は好評だったようで11月には追加募集した。ただ、デジタルという事は不慣れな電子化により使えない人が多いことも課題だ。

(荒井)



放射能測定値(市民計測)

(HORIBA Radi) 単位(μSv/h) 地上50cm

10/13 曇 湘南徳洲会病院 1階ロビー 0.064

10/22 雨 湘南台市民シアター内 0.045

ECONET INFORMATION

▲映画 「ヒロシマへの誓い

～サーロー節子とともに～

11月20日(土) 藤沢市民会館第一展示ホール

14:00-15:30 参加費 1000円

主催 ピースリレー・ふじさわ

090-9239-0864 島田 0466-36-8916 見城

▲第9回震災復興支援コンサート&トーク

原発事故から10年 歌や演奏で福島支援します

11月23日(祝火) 13:30-15:30

湘南台市民シアター チケット¥500

主催：実行委員会 080-3018-8191



▲今なら間に合う！ 気候危機

講師 江守正多さん 武本匡弘さん

11月28日(日) 14:00-

藤沢市民会館第2展示ホール ¥1000

主催 湘南のなぎさを守る藤沢市民の会

申込み 0466-50-0117

▲“フクシマ” 尊厳と記録の記憶

豊田直巳氏(フォトジャーナリスト)

11月6日(土) 13:00-

展示は 10:00-16:00

カトリック藤沢教会 参加費 500円

主催 NPO こども達に未来を in 湘南

連絡先 0466-55-2251



▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議 11月6日(土) 10:00~

六会公民館

《編集後記》文化・芸術の秋。気候変動研究で1967年に「大気中のCO2が2倍になれば気温は約2度上昇する」と発表し、89年に「大気海洋結合モデル」に基づく温暖化予測を発表した真鍋叔郎さんがノーベル物理学賞を受賞した。現在深刻な地球温暖化問題解決の礎を築いた人。このような地道な研究が世界を救う。気候変動対策すなわちCO2排出ゼロに取り組もう。

(A)